

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月20日

事業所名 こぼんはうすさくら盛岡緑が丘教室

保護者等数(児童数) 18 回収数 14 割合 78 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2	0	0		運動遊びの時などはテーブル等を片付け広いスペースを作って行っている。また、お部屋以外のお部屋を開放してマラソンなども行っている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0	4	何人体制なのか不明だけれど、多く職員がいると思う。ありがたいです。	手簿の時には、児発・放デイ間で協力体制を取っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	0	0	2		面談時に子供の様子を踏まえ母親と話をし、支援計画を作成している。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	0	2	同年齢の子との関わりが通所開始時より上手になってきたようです。自分の気持ちを言葉で伝えられるようになりました。まだ感情が上がりすぎる場面もありますが、落ち着いて過ごしてくれています。	ガイドラインの支援内容を説明しながら、子供の必要とする支援を母親と話をしている。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	0	3		契約してもすぐに利用が無かったり、数カ月に1回、1時間位の利用で支援計画の説明が遅れてしまった。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	0	0	2	プログラムを拝見すると、とても楽しそうに興味がわく。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	2	5		今は交流はないが、こぼんだけを利用している子供については、健常児と触れ合う機会を作りたいと思っています。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10	1	1	2		国で定められた支援内容であることを伝え、その支援に沿って作成していることを伝えている。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7	3	1	3		支援についてのアドバイスはさせてもらっているがペアトレの実施はしていない。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1	0	0		リズムで様子を伝えつつ、必要に応じて送迎時や電話で伝えている。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	0	1	もっと助言をください!	定期的にモニタリングを設けている。必要に応じて送迎時や電話等で様子を伝えている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	0	1	8		保護者会等の開催はない。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1	0	2		保護者から相談があった時には職員間で周知して話し合い、対応をしている。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	0	0	1		リズムにその日の活動、様子を記載している。また、直接お迎えの時には口頭で詳しく伝えている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	0	0	0		集団プログラムを毎月配布している。ブログを1回/週、公開している。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13	0	0	1		契約時に個人情報について説明して、同意をいただいている。	
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	0	0	4		各種マニュアルを策定し職員に周知している。保護者には周知していないが、避難訓練等の実施は伝えている。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	0	0	4		年2回消防署に通報訓練をしたり、水消火器訓練を実施している。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	0	0	週1回だけの利用ですが、朝「こぼんだよ」と声を掛けると喜んでいる。	「こぼんに行くのを楽しみにしています」の言葉をリズムや直接言われることが多く、嬉しく思います。
	23	事業所の支援に満足しているか	12	2	0	0	いつも本当にありがとうございます。	

255 12 5 45

80%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら盛岡緑が丘教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	運動遊びなどの時にはテーブル等を片付けるなどしてスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	送迎の関係で適切な人数でない時はある。欠員が出た際ヘルプ等で補い協力合っている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	会議等で確認したり、必要に応じては確認しながら行い改善に向けての話し合いをしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	送迎時やリズムでの会話等で確認することは職員で共有している。また、面談等で出た話も職員	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	玄関に掲示して保護者に見えるようにしている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	内部研修を実施している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	6カ月に1度支援計画作成しているが、子供の気になる事等があれば面談をしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	アセスメントシートに記入してもらい状況を把握している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	ガイドラインを確認しながら、親の要望と子供の発達の状況を把握して、子供の発達に必要な	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1	支援目標を確認しながら、子供の様子を確認して職員間で共有している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	月毎の立案者は一人だが、職員皆の意見を聞きながら話し合い作成している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	領域ごとに考え、同じ内容にならないように工夫して作成している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	親の要望や支援会議の中で話し合い、作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	確認している。利用する子供の状況も話しながら確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	日報のみで行われる以外の振り返りが必要と感じる。必ず日報で情報共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	会議等でモニタリングを行ったり、定期的実施する事が乏しい。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	各相談所等と連携してその子のことを配慮し、最善の策を日々立案されている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	必要に応じて情報共有をしている。	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0			

携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7	集団生活に関わっていない子どもに対しての活動機会がない。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	参加しているか否かの周知がないためわからない。 ダウン症の家族会イベントのポスターを掲示し、内容を職員にも伝えていく。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	リズムで活動や様子を伝えていくが、必要に応じて電話をして伝えることもある	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	支援はおこなっていない。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	ガイドラインの支援内容を説明して、子供の必要とする支援を母親と話している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	定期的にモニタリングを行っている。必要に応じて電話等で対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	ホームページ、ブログを1回/週、公開している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	写真や絵カードを使用している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	職員の経験や資格がバラバラなので、もう少し具体的、実践的な研修等があると周知しやすいが
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	2回/年の通報訓練。1回/月の避難訓練を実施している。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	予防接種は契約時のアセスメントシートにより把握しているが、未接種のものについてはリズムが	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	保護者から聞き取りし、除去している。指示書の提出はしていない。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	状況を作成し説明を受け職員間で共有している。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	研修を受けて職員間で周知している。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	個々に応じた支援計画の内容の周知が甘い。契約時に説明をして理解をいただいている。	